

## 第3学年 図画工作科学習指導案

展開場所 図工室

## 1 題材名 どんどこ土まみれでかこう! (絵に表す活動)

## 2 題材について

本題材は、身近な自然や土に関わり、土を混ぜ合わせ絵の具をつくることを基に、造形的な活動や新しい形や色などを思いつきながら、土のできる表現を試したり、そのよさや違いを鑑賞したりして絵に表す題材である。絵に表す活動において、子供は成長するにつれうまく描こうという意識が強くなる。そして、形を整えて描いた分かりやすい絵がうまいと評価される傾向にもある。しかし、絵に表す活動において形を整えて描くことがそこまで大切なことなのか。そうであれば整えて描くことが苦手な子供は置き去りにされてしまう。形を整えて描いたり、目に映る通りに描くだけでなく、私は無意識に楽しみながら描くという行為もまた、絵に表す活動において重要なことだと考えている。よって、本題材において子供たちには、うまさにこだわらず夢中になって活動してほしい。その中で、自分の表したいことや新たな表し方に気付いたり、自分なりの形の面白さや美しさを見い出したりすることを楽しんでほしい。そして、土という身近にある材料に親しむ中で、自然材料の美しさ・色彩の豊かさや土や砂の感触の奥深さを視覚と肌身で感じてほしい。

本題材で子供たちが「土を混ぜる、土で絵の具をつくる、土でかく」という活動を繰り返す中で、普通に表現するだけでは見付けることのできない形や色の面白さに着目し、より深い学びになることを目標としている。これは、学習指導要領の目標(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」また、内容(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。」(2)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を活かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。」にあたる。

本題材の中心材料は土であり、本題材の活動は土を集めることから題材が始まっている。土の絵の具をつくるという経験だけであれば、授業者が用意してもよいのだろうが、それでは自分の思いをもつという点では物足りなく感じられる。そこで、土を集めるという経験により少しでも自分の思いを込めてほしいと考えた。集めた土はふるいにかけて、小石や砂利等を取り除き、透明の容器に入れ、日常的に鑑賞する。普段とは違う見方をすることで色の違いや自然材料の美しさなどを味わってほしいと考えている。土絵の具にする時の接着剤としては洗濯のりを使用する。土と洗濯のりの割合は、子供たちがそれぞれ選択できるようにする。土絵の具を塗りつける土台には白いアクリル絵の具やペンキ等などの基底材を塗った四つ切サイズの段ボールを使用する。鑑賞の段階では自分の作品に題名をつけて互いの作品を見合う中で、友達の作品のよさや面白さに気づき、共感したりする時間を設け、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせの感じなど、造形的な視点で振り返り、みんなの良さやアイデア、発想を交流したい。

土の観察と土絵の具を通して、普段の生活の中では見落としている自然の豊かな色彩や感触を子供たちは享受していくことになる。そういった活動を通じて子供たちの豊かな感受性を育てていきたいと考えている。

### 3 題材の目標

(1) 知識及び技能	(2) 思考力・判断力・表現力等	(3) 学びに向かう力・人間性等
<p>○土の色や形、感触などの違いを感じることができる。</p> <p>○土絵の具の色や質感の違いやよさを感じ、自分の感覚を通してその特徴を生かして表そうとしている。</p>	<p>○土で絵の具をつくることを味わいながら自分の表したいことを見付ける。形や色、表し方を考えて思いにあわせて工夫して表すことができる。</p> <p>○友達の作品の良さや面白さを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>○進んで土でつくった絵の具の感じを楽しみながら絵に表す学習活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>

### 4 指導計画(5時間扱い)

- 自分で採取し乾燥した土をふるいにかける。集めた土を鑑賞する。————— |
- 土で絵の具をつくり、試しながら表したいことをみつけ、表したいことに合わせて関係性や組み合わせを考え作品に表す。————— (本時:2・3/3) 3
- みんなの作品の良さや工夫を味わう。————— |

### 5 材料と用具

材料	用具
身近な自然の土、四つ切の段ボール、せんたくのり 透明な容器(ペットボトル、ビン)	小皿、雑巾、汚れて良い服、ポリエチレン手袋、スプーン フォーク、お手ふき、バケツ、ふるい、新聞紙

### 6 本時の指導

#### (1) 本時の目標

- 土絵の具の色や質感の違いやよさを感じ、自分の感覚を通してその特徴を生かそうとしている。

(知識・技能)

- 土で絵の具をつくることを味わいながら自分の表したいことを見付ける。形や色、表し方を考えて思いにあわせて工夫して表すことができる。(思考・判断・表現)

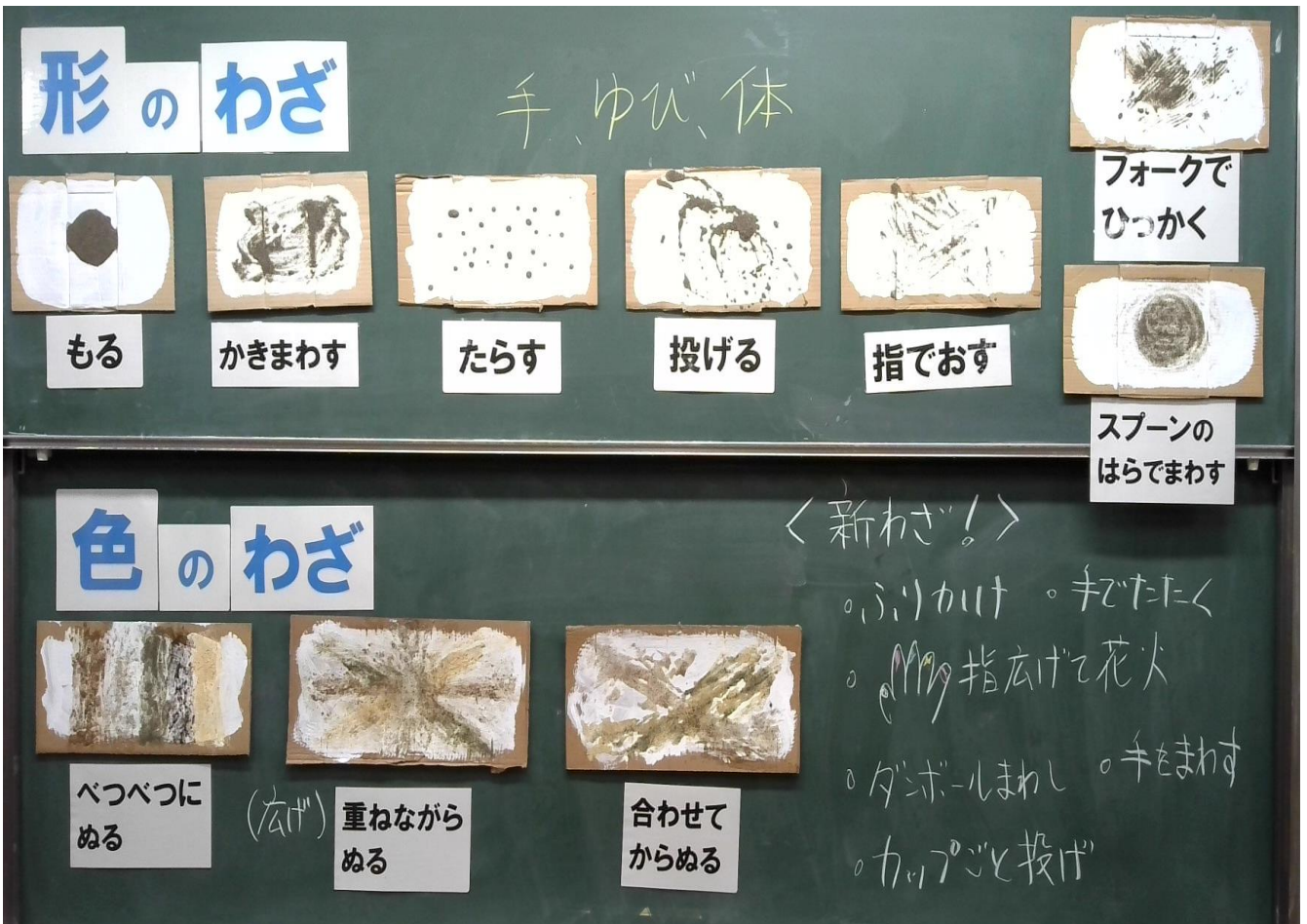
#### (2) 展開(2・3/3)

学習活動と内容	教師の支援(○)と評価(◆)	資料
<p>1 土集めをしてきた過程と前時の活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土集めが楽しくてはまった。</li> <li>・集めた土は食べれそうと思った。</li> <li>・土を投げた作品は、はじけて力強い。</li> <li>・指でなぞって同じ形をたくさん作ると面白い。</li> <li>・ぽたぽた落とすと、土がキラキラしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今まで土を集めてきた過程をギガタブとテレビ画面を使って、写真で振り返る。</li> <li>○前時で作成した作品を掲示して友達と見合い、さらに気付くことがないか声を掛ける。</li> <li>○自分の表したいことを前時の手立てを組み合わせたり、新しい手立てで表せたりすることはできないか試していくように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギガタブ</li> <li>・テレビ画面</li> <li>・透明容器に入った自然の土</li> </ul>

<p>2 活動のめあて、注意点などを確認し見通しをもつ。</p>	<p>○わざの組み合わせや数にこうすればよいということはないことを伝える。</p> <p>○土絵の具のついた手は直接洗い流さず、バケツの水で落としてから手を洗う。</p>	
<p>土絵の具のわざを組み合わせ、感じたままにかこう。</p>		
<p>3 土で絵の具をつくることを楽しみながら表したいことを探していく。</p> 	<p>○土を選び、せんたくのりを混ぜて調合しながらできる色のよさや違いを生かしていくように伝える。</p> <p>○壁や側面掲示された前時の作品をもとに新しいアイデアや気付くことがないか声を掛ける。</p> <p>○思い切り土を投げることに躊躇してしまう子供には、投げゾーンを活用するように声を掛ける。</p> <p>○土絵の具を試しながら味わっている姿、感触をもとに表すことを考えている姿などを共感的に見守り、介入しすぎないようにする。</p> <p>◆土絵の具の色や質感の違いやよさを感じ、自分の感覚を通してその特徴を生かして表そうとしている。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>○子供が見付けた形や色、表し方などにどのようにイメージを広げているのか、活動の姿や作品から捉えるだけでなく尋ねたり相談したりする。</p> <p>○友達の活動を見ることでさらに気付くことがないか声を掛ける。または、友達の作品を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小皿</li> <li>・スプーン</li> <li>・フォーク</li> <li>・せんたくのり</li> <li>・新聞紙</li> <li>・段ボール (四つ切)</li> <li>・バケツ</li>   <li>・ギガタブ</li> <li>・テレビ画面</li> </ul>
<p>4 みんなの作品を見て、自分の活動を振り返ったり、友達の活動のよさや面白さに気づき、共感したりする。</p>  <p>・土を投げたら力強くはじけた感じがするから、火山が噴火しているみたいに見えた。</p> <p>・土をなぞってできた形が、カモメのように見える。だから、海と船があって…</p>	<p>○完成した作品に題名をつけることで形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせの感じなど、造形的な視点で振り返る。</p> <p>○子供の作品をギガタブで撮影し、テレビ画面で共有し、みんなの良さやアイデア、発想を交流する。</p> <p>○題名当てクイズ形式にて共有する。作者がどんな題名をつけたかを予想する。</p> <p>○認め合えるような雰囲気をつくる。</p> <p>◆友達の作品の良さや面白さを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p> <p>(思考・判断・表現)</p>	

- ・ぼたぼた落とすと、土絵の具がキラキラ  
していて星の光のよう。でもホタルにも  
見えるから…
- ・色の土を組み合わせるとジャングルみ  
たい。黄色い土はバナナで、黒い土は  
ゴリラです。

【土絵の具の技法一覧】



【全体の様子】



【机上の様子(初期配置)】



【投げゾーン(教室四方のすみ)】



【側面掲示の様子】



【新しいカップコーナー】

